

7 母 子 保 健

鶴岡市の0～14歳人口(年少人口)は令和3年3月31日現在13,422人で総人口に占める割合は10.9%であり、出生数は減少傾向が進んでいます。

少子化に加え、乳幼児をとりまく環境は、女性の職場進出、核家族の増加、価値観の多様化など時代と共に大きく変化しており、更には乳幼児虐待など社会的にも問題が大きくなっており子どもを健やかに育む環境整備が必要となっています。

母子保健法に基づき、母性の健康増進とすべての子どもが健やかに生まれ尊重かつ保護され、健全な成長発達と健康増進を図るために、次の施策を行います。

(1) 乳幼児健康診査・健康教育事業 (令和3年度予算額9,597千円)

① 健康診査事業

乳幼児の健康増進を図るために、健康診査を実施しています。

健診では、我が子を客観的に観察することができるよう援助し母親の育児不安軽減と育児交流の場としても位置付けています。

・乳幼児健康診査実施状況(令和2年度)

月 齢	受診児 総数(人)	受診率 (%)	指導区分別実人員(人)				
			問題なし	要指導	要観察	要精密 健診	要治療・ 治療中
4か月児	706	99.4	527	13	36	46	84
7か月児	739	97.9	568	39	43	22	67
1歳6か月児	658	99.2	470	12	92	21	63
3歳児	784	99.2	409	45	161	108	61

※虐待未然防止の観点から未受診者への受診勧奨を強化しています。

※3歳児健診では、尿・視力・聴力検査が加わるため、要精密健康診査数が多くなっています。

※1歳6か月児健診、3歳児健診では精密健康診査料を助成しています。

② 保健指導事業

子どもの成長、発達、栄養、育児への不安等子育て全般について、相談や保健指導を行っています。

・乳幼児健康相談実施状況の推移

	30年度		元年度		2年度	
	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
定期育児相談	548	3,899	610	5,211	533	3,681
不定期育児相談	—	834	—	467	—	731
電話相談(件)	2,488		2,317		2,056	

※定期育児相談は各コミュニティセンターや地域庁舎で定期的実施しています。(健康すこやか相談窓口も含む)

③ 地域組織育成事業

母親同士の交流と、子ども達の遊びの「3つの間」(空間・仲間・時間)づくりを、また地区によっては異世代との交流と場づくりを目的に、学区・地域単位に子育てサークルの自主活動の支援を行っています。サークル活動は、コミュニティセンターや地域公民館等を会場に定期開催され、育児相談も同時開催となっています。

・子育てサークルと育児相談会(令和3年度)

場 所	サークル名	日 時	育児相談日時
第一コミセン	キラキラ星	第2金曜日午前	第2又は第3金曜日午前
第二コミセン	ヨチヨチ探検隊	第2又は第3月曜日午前	第2又は第3月曜日午前
第三コミセン	チロリン村	偶数月第3火曜日午前	第3火曜日午前
第四コミセン	おもちゃ箱	第2・3火曜日午前	第3火曜日午前
第五コミセン	てるてるぼうず	第3月曜日午前	第3月曜日午前
第六コミセン	コアラのマーチ	第1木曜日午前	第1木曜日午前
斎コミセン	のびのびクラブ	第2金曜日午前	第2金曜日午前
黄金コミセン	なかよしランド	第2木曜日午前	概ね第2木曜日午前
湯田川コミセン	たけのこ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
農村センター(大泉)	ミッキーのおうち	第3水曜日午前	第3水曜日午前
京田コミセン	ひよっこ広場	概ね第3木曜日午前	概ね第3木曜日午前
栄子育て支援室 なかよしルーム	栄あそぼう会	概ね第3金曜日午前	概ね第3金曜日午前
田川コミセン	-	-	第2火曜日午前
上郷コミセン	未来っ子クラブ	第3水曜日午前	第3水曜日午前
三瀬コミセン	わいわいクラブ	月2回火曜日午前	概ね第4火曜日午前
由良コミセン	はまっ子広場	第1・3火曜日午前	第1火曜日午前
小堅コミセン	ピヨピヨクラブ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
加茂コミセン	わくわく丸	不定期	奇数月概ね第2月曜日午前
湯野浜コスパ	ちんちん電車	第2木曜日午前	概ね第2木曜日午前
大山コミセン・大山児童館	大山よいこ ワイワイルーム	第1水曜日午前	第1水曜日午前
農林活性化センター(西郷)	つみきクラブ	第2・4水曜日午前	第4水曜日午前
藤島地域	藤島ふれあいセンター	サークルかやがや	第1火曜日午前
	長沼地域活動センター		-
	東栄地域活動センター		-
	渡前地域活動センター		-

場 所		サークル名	日 時	育児相談日時
羽黒地域	手向地区地域活動センター	はぐるっこ広場	第 2・4 火曜日午前	—
	羽黒コミュニティセンター		第 2・4 金曜日午前	—
	羽黒子育て支援センター (貴船保育園内)	—	—	概ね第 4 月曜日午前
榎引すこやかセンター (榎引地域)		あそぼう会	金曜日午前	奇数月第 2 木曜日午前
健康の里 ふくら (朝日地域)		ぴよぴよ広場 (1 歳未満)	毎月第 3 木曜日	毎月第 3 木曜日
		あそびの会 (1 歳以上)	木曜日午前	—
あつみ子育て支援センター (温海地域)		—	—	概ね奇数月第 3 水曜日 午前

④ 健康教育事業

子どもの成長・発達や育児について、個別的・集団的に指導助言を行い、地域の普及を図っています。

(ア) 食育指導と育児教室実施状況

離乳食指導は、4 か月児、7 か月児の各健診・相談時に実施しています。

ベビーキッチンは、9～11 か月児を対象にした離乳食の調理実習・試食を含む食育教室です。

		30 年度		元年度		2 年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
食 育	離乳食指導	48	1,539	48	1,406	48	1,445
	ベビーキッチン	4	82	4	104	3	33
	食育教室	9	182	5	164	1	14
育児教室	育児サークル支援	83	408	76	424	2	16
	子育て支援	48	737	73	548	5	141

(イ) 思春期教育

思春期における心と体の変化を知り、豊かな人間性と社会性を持ち正しい知識と行動により将来待ち望んだ妊娠が迎えられるように講義と実技体験（赤ちゃん抱っこ・妊婦体験）等を、他機関との連携を図りながら行っています。

令和 2 年度実績 3 回、67 人（すこやか出前子育て懇談会含む）

(ウ) 歯科健康教育実施状況

対 象	事 業 名	30 年度		元年度		2 年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
乳児の保護者	7 か月児健診	24	763	24	706	24	739
幼児及び 保護者	1 歳 6 か月児健診 3 歳児健診	72	1,684	72	1,622	50	1,442
	育児サークル等	10	115	8	128	5	38

⑤ 健康支援事業

先天的な障がいや発達障がい等の障がい受容と育児を支援し、適切な療育環境の整備を図り、また一貫した療育支援のため、医療・保健・福祉の連携を図っていきます。

(ア) 言語発達相談（おやこ教室）

乳幼児健診や相談において、ことばの発達やコミュニケーションに課題のある幼児とその家族、育児不安のある母とその子ども等を対象に実施しています。

30年度		元年度		2年度	
回数	人数	回数	人数	回数	人数
8	実 36 延 50	8	実 41 延 51	8	実 39 延 50

(イ) 元気キッズ教室

幼児肥満の増加から生活習慣病の予防を強化します。1歳6か月児、3歳児健診で見られた肥満や低身長幼児を対象に専門医師による健診や生活習慣病の予防に向け継続的に支援しています。

		30年度	元年度	2年度
回数		4	4	4
人数	肥満児	実 27 延 33	実 21 延 28	実 21 延 24
	低身長	実 9 延 10	実 9 延 12	実 11 延 14

⑥ 療育指導事業

障害児の適正療育を図るために、温海地域親の会活動を拠点に療育経験交流と情報交換及び収集などを行いながら、親の会活動を育成しています。（令和2年度）

・かたつむりの会(療育訓練を必要とする児の親の会) 開催状況<温海地域>

開催回数	人数	内容
3	延 22	情報交換、研修会

⑦ 連携推進事業

子育て・療育支援・虐待予防について、保健、福祉、教育等が連携し開催しています。

・子育て支援連絡協議会（櫛引地域）

開催回数	参集者、担当者	内容
年 2 回	保育所（園長）、子育て支援センター（職員） 行政職員（児童福祉担当、教育担当、保健師）	情報交換 ケース会議

・子育て支援センター連絡会議（朝日地域）

開催回数	参集者、担当者	内容
年 4 回	保育所（園長）、子育て支援センター（職員） 行政職員（保健師）	情報交換 ケース会議

・虐待予防連絡会議（温海地域）

開催回数	参集者、担当者	内容
年 2 回	保育所（園長）、子育て支援センター（所長）、 主任児童委員、行政職員（児童福祉担当、指導主事、 子ども家庭支援センター、保健師）	情報交換 ケース会議

(2) 妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業

(令和3年度予算額 80,992千円)

妊娠期を健やかに過ごし安心して出産に臨めるようにするために、妊婦に対する健康診査を医療機関に委託実施し、妊娠中の健康管理や経済的負担の軽減を図っています。

また、平成30年6月1日に、健康課と子ども家庭支援センターに「子育て世代包括支援センター」を開設しました。健康課では特に妊娠・出産・産後を、子ども家庭支援センターでは子育て期を担当し、連携して切れ目なく支援を行います。

① 健康診査事業

・妊婦健康診査受診者数（令和2年度）

受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員	
1回目	664	2回目	638	3回目	645	4回目	638
5回目	610	6回目	628	7回目	601	8回目	577
9回目	608	10回目	583	11回目	549	12回目	505
13回目	386	14回目	232				
超音波 1回目	669	超音波 2回目	642	超音波 3回目	638	超音波 4回目	599
子宮頸がん	640	クラミジア	694	HTLV-1	678		

※平成21年度より初回10,000円、2回目以降5,000円を上限として助成。

※平成28年度より、超音波検査初回5,300円、2～4回目4,770円を上限として助成。

・妊婦健康診査結果状況（令和2年度）

	受診者 実数	指導区分別実人数				異常のある者（疑）			HBs 抗原 陽性 者数	HCV 抗体 陽性 者数
		異常 なし	要経過 観察	要精密 検査	要治療	高血圧・ たん白尿	貧血	高血糖		
1回目	664	455	152	14	43	10	44	56	0	0
4回目(20週頃)	638	366	247	1	24	3	1	3		
8回目(30週頃)	577	262	192	10	113	0	73	0		
12回目(37週頃)	505	236	228	0	41	1	31	1		
子宮頸がん	640	623	5	12	0					
クラミジア	694	672	2	0	20					
HTLV-1	678	667	5	5	1					
超音波	1回目	669	655	8	0	6				
	3回目	638	572	45	1	20				

(注) 償還払いによる受診は含まない。(償還払い18件)

(注) 高血圧は最高血圧150mmHg、最低血圧90mmHg以上、たん白尿は+以上、貧血はヘモグロビン濃度11g/dℓ未満。

② 母子保健相談支援事業

(ア) 母子健康手帳交付者数

母子健康手帳は、妊産婦と乳幼児の健康管理と健康診査の結果や発育の記録のために必要な項目を記録するものです。外国人の妊婦に対し、外国語版も準備しています。

	交付数	日本語版	ハングル版	英語版	中国語版	その他
30年度	713	709	0	4	0	0
元年度	705	702	0	1	1	1
2年度	685	685	0	0	0	0

(イ) 母子保健コーディネーター活動実施状況

妊娠・出産・育児について、相談・助言を行っています。

	相談	訪問・面談	電話	他機関との連携・調整
30年度	774人	実49人 延74人	308回	323回
元年度	716人	実47人 延107人	274回	277回
2年度	609人	実34人 延107人	193回	235回

(ウ) 妊産婦サポート事業

支援が必要な妊婦に、妊娠期から家庭訪問や面談で保健指導を実施することにより、母性・父性や子どもへの愛着形成を育み、妊娠・出産・子育てへの不安軽減を図ります。

	実人数	訪問・面談(延)	電話での支援
30年度	22人	75回	実14人、延29回
元年度	21人	71回	実17人、延28回
2年度	13人	52回	実13人、延47回

(エ) 産後母子ケア事業「ほっとママルーム」

支援が必要な産婦に、産科医療機関等において、心身のケアと情緒的サポート及び育児支援とともに、乳児のケアを行うことにより、負担軽減と不安の解消を図ります。

	日帰り型		宿泊型	
	実	延	実	延
30年度	7人	19人	1人	5人
元年度	1人	1人	4人	6人
2年度	2人	2人(2日間利用)	4人	5人(16日間利用)

(オ) プレママ教室

妊娠、出産、子育てに関する悩みに対して、専門職である保健師、助産師等が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行い、孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、出産、育児に臨むことができるよう支援します。

	回数	参加妊婦(実)	参加総数
30年度	9回	38人	58人
元年度	11回	54人	149人
2年度	10回	41人	140人

※平成30年6月より実施。

(カ) 母乳・ミルク相談

産婦の子育ての悩みに対して相談支援を行い、母乳栄養を推進し、乳児が健やかに成長発育できるよう支援するとともに、産婦の子育て不安の軽減を図ります。

	定期相談		随時相談（電話含む）	
	実人数	延人数	実人数	延人数
30年度	10人	18人	48人	69人
元年度	41人	57人	27人	36人
2年度	30人	45人	29人	38人

※平成30年6月より実施。

③ 訪問指導事業

育児経験の不足からくる育児不安の解消と、生命誕生の喜びを確認し、親の育児に対する役割や責任について理解を深めてもらうために、全乳児に訪問指導を行っています。

また、若年、未婚、高齢初産婦などハイリスク妊婦に対しては、妊娠中にも訪問指導を行っています。

	乳児		低出生体重児		幼児		妊産婦		その他	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
30年度	769	873	37	40	80	103	775	917	43	60
元年度	738	823	26	32	59	86	759	848	35	57
2年度	652	738	29	35	41	56	676	786	32	59

④ すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会

(ア) 設置目的

核家族化、少子化の進展、女性の社会進出などの社会構造が変化するなかで、子育てに不安をもつ母親が増え、身近に相談する人がいないなど新しい時代の子育てが問題となっています。すこやかな子どもを生み育てるために関係者が情報を交換しながら連携を密にし、効果的な母子保健活動を推進していきます。

(イ) 設立年月日 平成6年2月16日

(ウ) 令和元年度活動目標「みんなで支えるコロナ時代の安心子育て」

(エ) 活動状況（令和2年度）

○子育て講演会

【新型コロナの影響により、令和2年度は中止】

○円卓会議 令和3年2月2日

テーマ「コロナ禍で変化したことと見えてきた課題、これからの子育てについて」

○すこやか出前子育て懇談会

- ・令和2年10月28日 参加者 19人 鶴岡中央高校 総合科 3年生
- ・令和2年11月13日 参加者 109人 上郷小学校4、5、6年生と保護者と教職員
- ・令和3年1月26日 参加者 親子20組 あかちゃん広場参加の乳児と母
- ・令和3年2月17日 参加者 18人 加茂水産高校3年生

○すこやかネット通信「親ガメ・子ガメ」

- ・55号：令和3年3月発行

○推進委員会 年3回

○専門部活動

- ・研修部 円卓会議、子育て講演会の企画、実施
- ・推進部 すこやか出前子育て懇談会の実施
- ・編集部 すこやかネット通信の編集・発行、活動のPR媒体作成

(オ) 委員体制 19人

委員区分

- ①保健所等行政機関の代表者…… 4人
(庄内保健所、庄内児童相談所、小学校・中学校各養護教諭部会)
- ②小児科・産婦人科等関係医師… 2人
- ③地域関係団体代表者…………… 2人
(市立保育園保護者会連絡協議会)
- ④学識経験者…………… 3人
- ⑤市関係課職員…………… 8人
(子ども家庭支援センター、社会教育課、学校教育課、女性センター、学校給食センター、庄内病院小児科・産婦人科)

(3) 特定不妊治療費助成事業

(令和3年度予算額 14,002千円)

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精による治療法）を受ける夫婦に対して、山形県特定不妊治療費助成事業に上乗せをして、費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図っています。

	30年度	元年度	2年度
助成組数	実72 延106	実73 延123	実88 延147